

加古川流域委員会 第10回 資料
加古川水系河川整備計画原案について

平成21年9月15日

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

加古川水系河川整備計画原案について

加古川水系河川整備計画原案の目次（案）

0. まえがき

1. 流域及び河川の概要

- 地形・地質・気候などについて

2. 河川整備の現状と課題

- 治水の現状と課題（洪水、高潮など）
- 利水の現状と課題
- 河川環境の現状と課題（生物、利用、水環境など）
- 河川管理の現状と課題
（管理施設の維持、危機管理、住民連携など）

3. 河川整備の目標に関する事項

- 治水の目標
- 利水の目標
- 河川環境の目標
- 河川管理の目標

4. 河川の整備の実施に関する事項

- 治水の実施について
- 利水の実施について
- 河川環境の実施について
- 河川管理の実施について

流域委員会での
議論内容を踏まえて、
原案を作成

流域委員会における河川環境についての議論

◆多様な生物の生息・生育・繁殖環境について

生命の生存基盤である、生物の多様性を健全な状態で維持していく必要がある。

- 生物の生息・生育・繁殖環境の保全と再生
瀬・淵、わんど・たまり、礫河原、水際植生、河口干潟
- 加古川の特定外来種（アレチウリ、ヌートリア等）
 - ・特定外来種の継続調査、在来種への影響を小さくする対策
 - ・外来生物法等に関する啓発・広報の重要性
- 生物多様性の保全
絶滅危惧種等の貴重種を含めた生物の多様性の保全の重要性



河口干潟



ヌートリア

加古川の特定外来種の例



ナガボテンツキ

加古川の絶滅危惧種の例

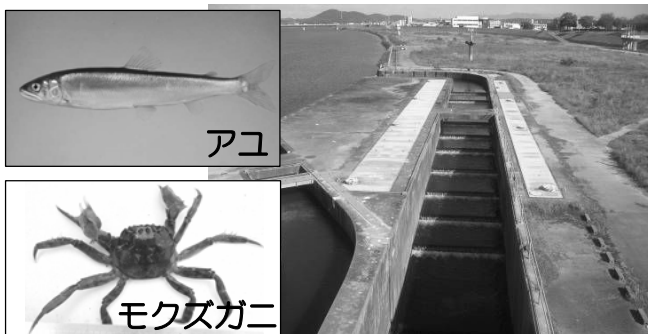
3

流域委員会における河川環境についての議論

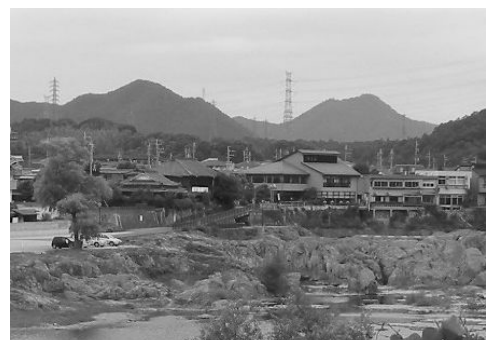
◆河川の連続性について

加古川の利用・整備の歴史的背景を踏まえた連続性に配慮するとともに、加古川に生息する全ての魚類・甲殻類が、生活史を全うする必要がある。

- 魚類・甲殻類等の移動の連続性の確保
生息する全ての魚類・甲殻類が自由に遡上・降下できることを目指し、課題の把握と魚道の改築を推進
- 加古川の舟運の歴史を踏まえ、まちづくりと一体となった整備を実施



加古川の回遊性生物と階段式魚道の課題



加古川の船座跡

4

流域委員会における河川環境についての議論

◆地域と河川とのかかわりあいについて

加古川を通して人が水辺に親しみ、健康で文化的な生活を営むことが出来る空間を守っていく必要がある。

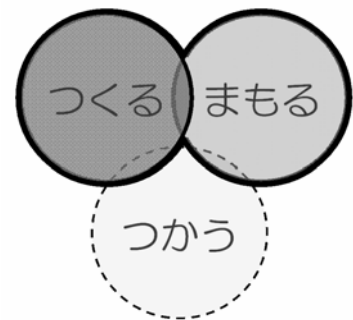
- 親水性（水辺に親しむために河川に集まる行為）の確保
川でしかできない水辺に親しむための施設の充実
- 住民参加型のモニタリングの継続的な実施
- 地域住民や地域で活動されている方々、河川管理者とが一体となった取り組みの実施（エリアマネジメント）



散策



住民参加型簡易水質調査



地域と河川のかかわりの

イメージ図

5

流域委員会における河川環境についての議論

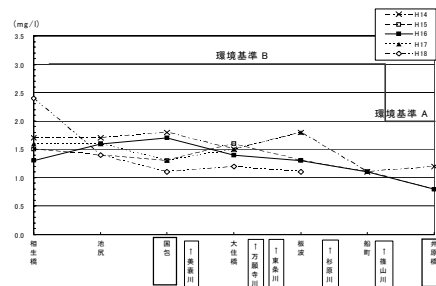
◆水環境（水質）について

工業排水や生活排水による河川水の汚濁から人の健康、生活環境を守り、加古川の良好な水質が保全される必要がある。

- 河川水質の保全
環境基準を満足
（河口から篠山川合流までB類型、篠山川合流から源流A類型）
- 水質調査の充実
国包・板波に水質自動観測所を設置
（水温・PH・DO（溶存酸素）・濁度・導電率・CODの測定）
- 水質事故の対応
「加古川水質汚濁防止協議会」を通じた関係機関との連携、迅速な水質事故への対応



加古川水系の類型指定状況



BOD75%値経年変化

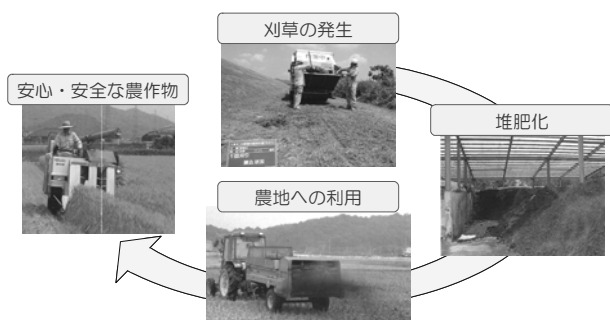
6

流域委員会における河川管理についての議論

◆河川管理について

洪水による浸水被害から国民の生命・財産を守るために、河川区域・河川管理施設の機能を万全にしておく必要がある。

- ▶ 河川管理施設等の適切な維持管理の実施
(堤防、加古川大堰、樋門、排水機場、水文観測施設など)
- ▶ 堤防除草における刈草の有効利用
- ▶ 河道の維持管理
 - ・ 土砂管理：洪水後の洗掘、堆積など経年的な状況把握の実施
 - ・ 樹木管理：生物の生息に配慮した輪伐の実施



刈草有効利用のイメージ



生物の生息に配慮した輪伐

流域委員会における河川管理についての議論

◆危機管理について

災害を未然に防止するとともに、災害時の迅速な対応により被害の最小化を図っていく必要がある。

- ▶ 災害の未然防止、被害の最小化のための危機管理
- ▶ 関係団体との連携（洪水予報連絡会、水防協議会 など）
- ▶ 安全な河川管理施設の運用
操作員講習会の実施、大堰放流警報の実施
- ▶ 平常時・災害時の情報提供
様々な媒体、手法を通じた情報提供の実施
(ハザードマップ、HPによるリアルタイム情報提供、ケーブルTV配信など)



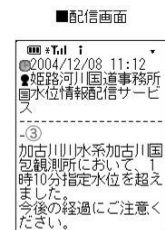
洪水予報連絡会



URL: <http://www.bosai.joho.go.jp/radar.html>



URL: <http://www.himejikk.milt.go.jp/kakogawacam/livecamera1.html>



URL: http://www.himejikk.milt.go.jp/Water_Level/index.html

ホームページ等による情報提供

水位情報配信サービス

HP、携帯電話を活用した情報提供

流域委員会における河川管理についての議論

◆地域と連携した河川管理について

地域住民と連携し、加古川の良好な環境や、地域の価値を守っていく必要がある。

- ▶地域住民・ボランティア団体等と連携した河川管理の取り組み
 - ・河川の情報提供、河川愛護の普及等のための各種制度の活用（河川愛護モニター、リバーカウンセラー制度 など）
 - ・伐採した樹木の有効利用
- ▶流域一体となった塵芥処理の実施
- 上下流一体となった美化清掃活動の実施と支援



伐採樹木の有効活用



平成16年10月洪水による塵芥



ボランティアによる清掃活動 9